

国立国語研究所学術情報リポジトリ

ロールプレイによる方言談話収録調査

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.15084/00002752 |

ロールプレイによる方言談話収録調査

井上 文子
(国立国語研究所)

1. 共同研究プロジェクト

1. 1. 目的

国立国語研究所の萌芽・発掘型共同研究プロジェクト「方言談話の地域差と世代差に関する研究」（平成22年11月～平成25年10月）では、将来的に方言談話の類型とその変容を解明する研究につながることを想定し、方言談話の地域差・世代差・性差・場面差などを考察するためのパイロット調査として、重点地域において談話データを収集し、談話構造や談話展開についての枠組みや仮説を立てることをめざしてきた。

談話を対象とした研究は、近年特に関心を集め、標準語談話だけではなく、方言談話を用いた研究も活発におこなわれるようになってきている。しかし、方言談話についてはまだ不明な点も多いため、本プロジェクトでは、方言研究と会話分析研究において積み重ねられてきた知見をふまえながら、ケーススタディとして、発話機能に基づく分析によって方言の談話構造と談話展開を明らかにしようと試みた。

1. 2. 組織

共同研究者

井上文子（国立国語研究所時空間変異研究系准教授）

三井はるみ（国立国語研究所理論・構造研究系助教）

熊谷智子（東京女子大学現代教養学部教授）

小西いずみ（広島大学大学院教育学研究科准教授）

高橋顕志（群馬県立女子大学文学部教授）

日高水穂（関西大学文学部教授）

松田美香（別府大学文学部教授）

研究協力者

森勇太（関西大学文学部助教）

酒井雅史（大阪大学大学院生）

白坂千里（大阪大学大学院生）

田中渉（関西大学大学院生）

利岡真帆（関西大学大学院生）

野間純平（大阪大学大学院生）

山本空（関西大学大学院生）

1. 3. データ収集

方言談話を分析する場合、自然談話を対象とするのが理想的ではあるが、自然談話は、話者の属性はある程度統一できても、場面や話題がさまざまであり、単純には比較することが難しい場合が多い。そのため、場面をそろえることが可能で、発話の意図や話の流れが比較しやすい、ロールプレイ会話を利用することにした。

ロールプレイ会話は、役割を演じるという仮想の会話ではあるが、使用する表現や話の展開を話者自身が考えるため、実際の言語運用に近い会話が得られると考えた。共同研究者の日高水穂氏が以前に実施した調査（「ロールプレイ会話データベース」<http://hougen.sakura.ne.jp/hidaka/kaiwa/>）を発展させるかたちで、「依頼」「勧誘」「申し出」などの場面を設定し、電話をかけるという方法で、その状況での会話を親しい同性の友人同士で実演してもらった。また、先輩にあたる同性の人にも参加してもらい、同輩同士の会話のほか先輩と後輩の電話での会話も収録した。調査の概要は次のとおりである。

2. ロールプレイ会話調査

2. 1. 調査概要

- ・調査実施時期：2011年11月～2013年10月
- ・調査地域：首都圏、関西、秋田、名古屋、相生、広島、大分、熊本、人吉、沖縄
- ・話者：高年層（60～70歳代）男性、高年層（60～70歳代）女性、
若年層（大学生～20歳代）男性、若年層（大学生～20歳代）女性
- ・収録会話の種類：ペア入れ替え式ロールプレイ会話 4場面、
リーグ戦式ロールプレイ会話 2場面または3場面

2. 2. ペア入れ替え式ロールプレイ会話

2. 2. 1. 調査方法

- ・同性の親しい友人同士2名（話者A、話者B）がペアとなり、電話で会話を行う。
- ・話者A、話者Bのそれぞれに、相手に伝える内容を指示する。
- ・話者Aが電話のかけ手、話者Bが受け手の会話を実施したのち、役割を入れ替えて、異なる場面設定の会話を実施する。

2. 2. 2. 場面設定＜高年層＞

場面1 [A→B] 文句を言う

【Aへの指示内容】自治会（職場・親睦グループ等）の集まりがあり、メンバーが集合場所に集まっています。ところが、集合時間を30分過ぎてもBさんが来ません。Bさんに電話をかけて文句を言ってください。Bさんの言い分を聞いた上で、来るように促してください。

【Bへの指示内容】自治会（職場・親睦グループ等）の集まりに出席する予定だったので

すが、集合時間を 30 分過ぎてしまいました。すでに集合場所にいる A さんから電話がかかってくるので、言い訳をしてください。A さんに来るように促されたら了解してください。

場面 2 [A→B] 頼む

【Aへの指示内容】日曜日に自治会（職場・親睦グループ等）の集まりがあるのですが、所用で出席できなくなりました。B さんに電話をかけ、代わりに出席してくれるよう頼んでください。断られても説得してください。

【Bへの指示内容】A さんから電話がかかってきます。A さんの持ちかける用件をいったんは断ってください。A さんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

場面 3 [B→A] なぐさめる

【Aへの指示内容】自治会（職場・親睦グループ等）の会長（上司・先輩等=D さん）を怒らせてしまい、落ち込んでいるところに、B さんから電話がかかってきます。B さんと話をし、前向きな気持ちになったら了解してください。

【Bへの指示内容】A さんが自治会（職場・親睦グループ等）の会長（上司・先輩等=D さん）を怒らせてしまい、落ち込んでいると聞きました。A さんに電話をかけ、A さんが前向きな気持ちになるよう話をしてください。

場面 4 [B→A] 誘う

【Aへの指示内容】B さんから電話がかかってきます。B さんの持ちかける用件をいったんは断ってください。B さんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

【Bへの指示内容】日曜日に自治会（職場・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）があります。A さんに電話をかけ、誘ってください。断られても説得してください。

2. 2. 3. 場面設定<若年層>

場面 1 [A→B] 文句を言う

【Aへの指示内容】ゼミ（サークル・親睦グループ等）の集まりがあり、メンバーが集合場所に集まっています。ところが、集合時間を 30 分過ぎても B さんが来ません。B さんに電話をかけて文句を言ってください。B さんの言い分を聞いた上で、来るように促してください。

【Bへの指示内容】ゼミ（サークル・親睦グループ等）の集まりに出席する予定だったのですが、集合時間を 30 分過ぎてしまいました。すでに集合場所にいる A さんから電話がかかってくるので、言い訳をしてください。A さんに来るように促されたら了解してください。

場面2 [A→B] 頼む

【Aへの指示内容】日曜日にゼミ（サークル・親睦グループ等）のボランティア活動があるのですが、所用で参加できなくなりました。Bさんに電話をかけ、代わりに参加してくれるよう頼んでください。断られても説得してください。

【Bへの指示内容】Aさんから電話がかかってきます。Aさんの持ちかける用件をいったんは断ってください。Aさんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

場面3 [B→A] 慰める

【Aへの指示内容】ゼミ（サークル・親睦グループ等）の先輩（=Dさん）を怒らせてしまい、落ち込んでいるところに、Bさんから電話がかかってきます。Bさんと話をし、前向きな気持ちになったら了解してください。

【Bへの指示内容】Aさんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の先輩（=Dさん）を怒らせてしまい、落ち込んでいると聞きました。Aさんに電話をかけ、Aさんが前向きな気持ちになるよう話をしてください。

場面4 [B→A] 誘う

【Aへの指示内容】Bさんから電話がかかってきます。Bさんの持ちかける用件をいったんは断ってください。Bさんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

【Bへの指示内容】日曜日にゼミ（サークル・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）があります。Aさんに電話をかけ、誘ってください。断られても説得してください。

2. 3. リーグ戦式ロールプレイ会話

2. 3. 1. 調査方法

- ・同輩2名（話者A、話者B）+先輩1名（話者C）を1グループとし、うち2名がペア（甲、乙）となり、電話で会話を行う。
- ・話者それぞれに、相手に伝える内容を指示する。
- ・話者のすべての組み合わせが得られるよう総当たりで会話を行う。
- ・さらに、電話のかけ手・受け手を入れ替えて会話を行う。
- ・場面1においては、話者の組み合わせが同輩同士の場合は場面1-1、先輩と後輩の場合は場面1-2の設定とする。

2. 3. 2. 場面設定<高年層>

場面1-1 出欠を確認する（同輩同士の会話）

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は来月行く自治会（職場・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行打ち合わせ会を欠席していた乙さんに旅行に行くかどうかを尋ねてくだ

さい。乙さんが旅行に（目上の）Cさんが来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。乙さんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってくる。甲さんが自治会（職場・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、（目上の）Cさんが来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

場面1-2 出欠を確認する（先輩・後輩の会話）

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は来月行く自治会（職場・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行の打ち合わせ会を欠席していた乙さんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。乙さんが旅行にEさん（両者にとっての目上の人物、会長等）が来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。乙さんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってくる。甲さんが自治会（職場・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、Eさん（両者にとっての目上の人物、会長等）が来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

場面2 手伝いを申し出る

【かけ手への指示内容】乙さんが自治会（職場・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、準備に手間取っていると聞きました。乙さんに電話をかけて、乙さんの準備を手伝うことを申し出てください。断られてもさらに申し出を続けてください。

【受け手への指示内容】あなたは今自治会（職場・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、少し手間取っています。そこに甲さんから電話がかかってくる。甲さんから申し出があるのですが、いったん断ってください。その後、適当なところでその申し出を了承してください。

場面3 本を持っているか尋ねる

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は今、ある本を探しています。乙さんに電話をかけて乙さんがそれを持っているかを尋ねてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってくる。甲さんはある本を探していて、あなたがその本を持っているかどうかを尋ねてきます。あなたはその本を持っているので、そのことを伝え、甲さんのところに本を持っていくことを提案してください。話がまとまったら電話を切ってください。

2. 3. 3. 場面設定〈若年層〉

場面1-1 出欠を確認する（同輩同士の会話）

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は来月行くゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅

行の幹事です。旅行の打ち合わせ会を欠席していた乙さんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。乙さんが旅行に（先輩の）Cさんが来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。乙さんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、（先輩の）Cさんが来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

場面1-2 出欠を確認する（先輩・後輩の会話）

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は来月行くゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行の打ち合わせ会を欠席していた乙さんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。乙さんが旅行にE先生（両者にとっての目上の人物、先生等）が来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。乙さんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、E先生（両者にとっての目上の人物、先生等）が来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

場面2 手伝いを申し出る

【かけ手への指示内容】乙さんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、準備に手間取っていると聞きました。乙さんに電話をかけて、乙さんの準備を手伝うことを申し出てください。断られてもさらに申し出を続けてください。

【受け手への指示内容】あなたは今ゼミ（サークル・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、少し手間取っています。そこに甲さんから電話がかかってきます。甲さんから申し出があるのですが、いったん断ってください。その後、適当なところでその申し出を了承してください。

場面3 本を持っているか尋ねる

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は今、ある本を探しています。乙さんに電話をかけて乙さんがそれを持っているかを尋ねてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんはある本を探していて、あなたがその本を持っているかどうかを尋ねてきます。あなたはその本を持っているので、そのことを伝え、甲さんのところに本を持っていくことを提案してください。話がまとまったら電話を切ってください。

3. 方言ロールプレイ会話データベース

収集したロールプレイ会話は、録音・録画をもとに、方言音声の文字化、共通語訳をお

こなつた。文字化・共通語訳はプロジェクトメンバー、対象方言を専門とする方言研究者、収録地のネイティブスピーカーなどが校閲し、できる限り正確な言語データとして、公開・共有できるように整備した。公開にあたっては、個人情報やプライバシーへの配慮も含め、下記のような処理をおこなっている。

文字化

- ・漢字かな交じり文によって表記する。
- ・ペア入れ替え式の話者はA・Bで示す。
- ・リーグ戦式の話者はA・B・Cで示す。
- ・発話中の個人名は、会話の当事者を指す場合はA・B・Cの記号に置き換える。
- ・ペア入れ替え式の場面3の先輩Dにあたる個人名はDの記号に置き換える。
- ・リーグ戦式の場面1-2の先生Eにあたる個人名はEの記号に置き換える。
- ・その他の第三者はZ・Y・X...等の記号に置き換える。
- ・//：直後の発話が次の発話者の発話と同時に始まったことを示す。
- ・***：聞き取り不能の箇所。
- ・↑：上昇のイントネーションを表す。
- ・↓：下降のイントネーションを表す。
- ・{間}：発話がとぎれて不自然な沈黙が生じている箇所。
- ・{笑}：笑い声が生じた箇所。

音声

- ・音声については、個人名を伏せ音に加工している。
- ・個人名と重なっている発話の音声は、消去されている部分がある。
- ・原則として、電話のかけ手側の音声を使用。ただし、録音状態によっては、受け手側の音声を使用している場合がある。

公開用データとして、次の2種類を用意した。

「方言ロールプレイ会話データベース（ホームページ版）」

<http://www.ninjal.ac.jp/research/project/c/dialectconv/>

国立国語研究所ホームページ「トップ>研究活動>共同研究プロジェクト>萌芽・発掘型>方言談話の地域差と世代差に関する研究」の「プロジェクトの成果物：方言ロールプレイ会話データベース」

- ・ペア入れ替え式ロールプレイ会話とリーグ戦式ロールプレイ会話のそれぞれについて、文字化（漢字仮名交じり表記）、音声、凡例、話者情報、場面設定、調査概要を掲載している。なお、今後もデータを追加していく予定である。

「方言ロールプレイ会話データベース（Excel版）」

- ・ロールプレイ会話はホームページ版と同一であるが、検索が可能なデータとして、研究者に配布する予定である。Excelファイルは、「会話ID（地域_年層・性別・グ

ループ-場面)」「発話番号」「話者記号」「文字化」データで構成される。別途、音声ファイル、凡例、話者情報、場面設定、調査概要を付す。なお、今後もデータを追加し、すべてのロールプレイ会話について発話機能のラベリングを実施する計画である。

4. 分析・考察

本報告書では、収集したロールプレイ会話の中から、それぞれの場面設定について、首都圏と関西における典型例を選定し、共同研究者・研究協力者が分担して、分析・考察をおこなった。担当した場面と、対象としたロールプレイ会話は以下のとおりである。次章以降にそれぞれの談話の分析・考察を所収している。なお、いずれの談話でも場面設定には、たとえば、ペア入れ替え式ロールプレイ会話の場面2であれば、「依頼をする→断る→再度依頼をする→受諾する」のように、複数の行動を含んでいるが、談話の名称は便宜的に下記のようにした。

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：

場面1 「文句談話」 三井はるみ

首都圏高年層男性 01 (sht_hm01-1)

首都圏若年層男性 02 (sht_lm02-1)

場面2 「依頼談話」 松田美香

首都圏高年層女性 01 (sht_hf01-2)

首都圏若年層女性 01 (sht_lf01-2)

場面3 「慰め談話」 日高水穂

首都圏高年層女性 01 (sht_hf01-3)

首都圏若年層女性 01 (sht_lf01-3)

場面4 「勧誘談話」 小西いずみ

首都圏高年層男性 01 (sht_hm01-4)

首都圏若年層男性 02 (sht_lm02-4)

リーグ戦式ロールプレイ会話：

場面1 「出欠確認談話」 酒井雅史

首都圏若年層女性 04 (sht_lf04ab-1～sht_lf04cb-1)

関西若年層男性 02 (kns_lm02ab-1～kns_lm02cb-1)

場面2・場面3 「申し出談話」 森勇太

首都圏若年層女性 04 (sht_lf04ab-2～sht_lf04cb-2)

(sht_lf04ab-3～sht_lf04cb-3)

話者情報については、「方言ロールプレイ会話データベース（ホームページ版）」にも

掲載しているが、次のとおりである。

ペア入れ替え式ロールプレイ会話

| ペア | 話者記号 | 性別 | 出身地 | 生年 | 調査日時 |
|-------------|------|----|---------|---------|-------------|
| 首都圏高年層男性 01 | A | 男性 | 東京都文京区 | 1942 年生 | 2012.02.27. |
| | B | 男性 | 東京都文京区 | 1939 年生 | |
| 首都圏高年層女性 01 | A | 女性 | 東京都千代田区 | 1944 年生 | 2012.02.06 |
| | B | 女性 | 東京都千代田区 | 1953 年生 | |
| 首都圏若年層男性 02 | A | 男性 | 東京都小金井市 | 1989 年生 | 2012.02.23. |
| | B | 男性 | 埼玉県入間市 | 1989 年生 | |
| 首都圏若年層女性 01 | A | 女性 | 東京都台東区 | 1992 年生 | 2011.12.19. |
| | B | 女性 | 東京都大田区 | 1991 年生 | |

リーグ戦式ロールプレイ会話

| グループ | 話者記号 | 性別 | 出身地 | 生年 | 調査日時 |
|-------------|------|----|-----------|---------|-------------|
| 首都圏若年層女性 04 | A | 女性 | 埼玉県川口市 | 1991 年生 | 2013.08.08. |
| | B | 女性 | 埼玉県比企郡鳩山町 | 1991 年生 | |
| | C | 女性 | 埼玉県秩父市 | 1991 年生 | |
| 関西若年層男性 02 | A | 男性 | 大阪府堺市 | 1991 年生 | 2012.08.02. |
| | B | 男性 | 大阪府河内長野市 | 1990 年生 | |
| | C | 男性 | 大阪府八尾市 | 1987 年生 | |

発話機能をとらえるための指標に関しては、それぞれの論文において参考文献や先行研究として記載があるが、各場面の特徴を比較できるように、全体を通して共通の概念を用いて分析することにした。熊谷智子(1994、1997)の「行為的機能」、熊谷智子(2006)の「機能的要素」を活用している。また、ザトラウスキー(1991、1993、2011)の「話段」も参考にしている。

「行為的機能」

- ・熊谷智子 (1997) 「はたらきかけのやりとりとしての会話—特徴の束という形でみた「発話機能」—」 茂呂雄二編『対話と知 —談話の認知科学入門—』新曜社, 21-46.
- ・国立国語研究所編(1994)『伝えあうことば 日本語教育映像教材中級編関連教材 4 機能一覧表』大蔵省印刷局.
- ・「行為的機能」は、発話によって遂行される行為としての機能を考えるもの。
- ・「行為的機能」には、「情報要求」「行為要求」「注目要求」「陳述・表出」「注目表示」「関係づくり、儀礼」「宣言」がある。
- ・「行為的機能」は、「相手へのはたらきかけの姿勢」との組み合わせで発話機能を記述することを前提としている。
- ・理論的に作った分類枠を用いて会話の発話の特徴づけをしていくというもの。
- ・発話内容・発話姿勢についての分析項目のひとつ。

「機能的要素」

- ・熊谷智子、篠崎晃一(2006)「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」国立国語研究所編『言語行動における「配慮」の諸相』（国立国語研究所報告 123）くろしお出版，19-54.
- ・「機能的要素」は、発話を、呼びかけ・説明など、相手に対する働きかけの機能を担う最小部分と考えられる単位に分割したもの。機能的要素の上位分類の「コミュニケーション機能」は、個々の機能的要素を、言語行動においてどのような役割を担っているかという観点からグループにまとめたもの。
- ・行為遂行のストラテジー的記述ができる。

ただし、「機能的要素」については、共同研究者の熊谷智子氏から、「機能的要素は、あくまで談話完成テスト式の回答の分析用であり、どのような要素がどのような割合で表われているかという集計や比較を目的としている。」「機能的要素は、すべての回答のバリエーションを見渡してからでないと、適切なカテゴリー設定や分類枠組みが決められないという性格のものである。」という、提唱者としての指摘もあった。

「機能的要素」については、今後、収録した談話すべての発話を分類した結果、あらためて機能的要素の枠組を検討する必要がある。その際、談話完成テストではないロールプレイ会話のようなデータでもすべての部分に「機能的要素」をつけるのか、また、どこまでをひとつの「機能的要素」を持った発話と考えるのか、など課題は残されている。現時点で機能的要素を付与することについては議論の残るところだが、分析例としてのひとつの試みとして、機能的要素を用いることにした。この点を含め、発話機能の付与に関しては、まだ試行錯誤的な部分があるが、方言談話における談話構造・談話展開を明らかにするためのケーススタディとして実施したものである。

付記

・各論文で分析の対象としたロールプレイ会話の文字化データ (Excel)、音声データ (mp3) は、付属 CD-ROM に所収している。

・本報告書『国立国語研究所共同研究報告 13-04 方言談話の地域差と世代差に関する研究成果報告書』の pdf 版は、プロジェクトのホームページで公開する。

<http://www.ninjal.ac.jp/research/project/c/dialectconv/>